



◆鳥飼まちづくりランドデザインとは??

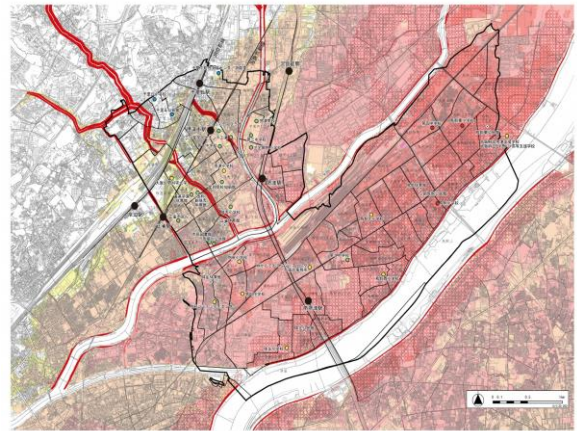
誰もが「安全・安心」に過ごし「にぎわい」と「暮らしやすさ」が調和したまちを目指しています

全国的な傾向と同様に摂津市も、人口減少や少子高齢化の傾向にあり、中でも鳥飼地域は少子高齢化の進展が著しく、市内の他地域と比較すると人口が大きく減少している地域です。鳥飼まちづくりランドデザインは、**水害リスクが高い**という鳥飼地域の地理的特性を踏まえ、住民の生命と身体を守る「危機管理（防災）」の観点から検討を始め、**人口減少と少子高齢化が進行するなかにおいても、鳥飼地域の地域活力を再び呼び起こす**ことを目的として令和4（2022）年7月に策定されました。

◆鳥飼地域の水害リスクは高いの??

鳥飼地域は、1000年に1度の発生確率（1年に発生する確率が0.1%）の想定最大規模の降雨による洪水により、淀川が氾濫した場合、最大浸水深は7mを超え、浸水継続時間も2週間以上となる場所もあります。

鳥飼地域全域が浸水エリアとなるため、住民の皆さんは水害の恐れがある場合は、事前の広域避難を行うことが重要です。



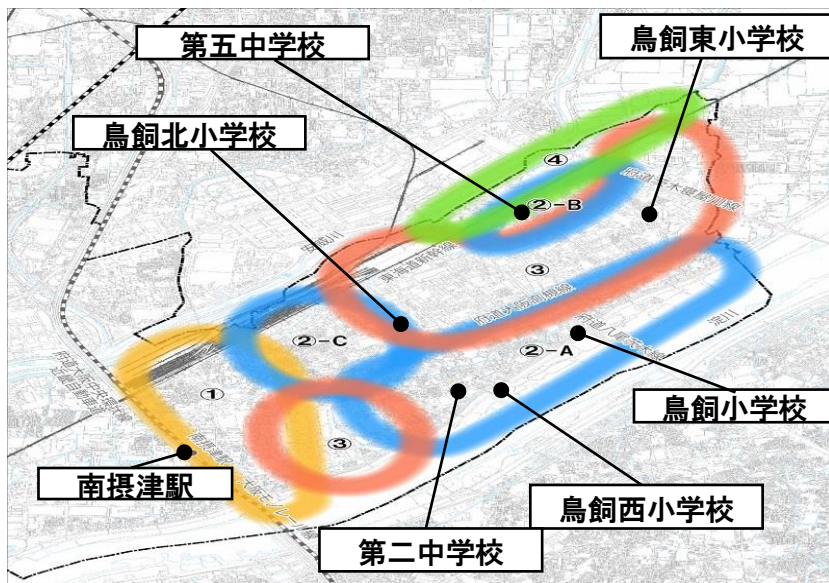
淀川・安威川等重ね合わせ浸水想定区域図
(想定最大規模)

◆鳥飼地域をエリア分けして考えています!

鳥飼地域は、淀川や河川公園、田園・水路、工場・倉庫の事業所群や大阪銘木団地、大阪モノレール南摂津駅など多様な地域資源が点在しているため、鳥飼地域を一体として考えるのではなく、それぞれの特徴を踏まえエリアに分けて考えています。

【各エリアの名称】

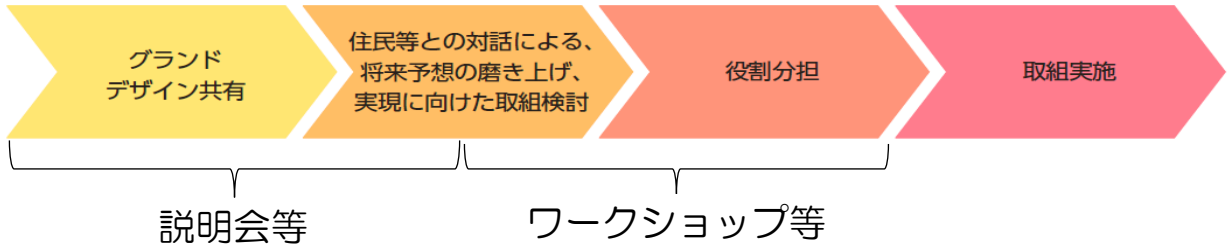
- ①人ともものが集まる賑わい（核）エリア
- ②居住性向上エリアA
- ②居住性向上エリアB
- ②居住性向上エリアC
- ③企業と住民の共存発展エリア
- ④田園（農業とのふれあい）エリア



◆鳥飼まちづくりグランドデザインを実現するための進め方

まずは鳥飼まちづくりグランドデザインについて、説明会等を通じて知ってもらい、鳥飼地域の現状や課題、現在考えている将来予想等について共有します。そのうえで、住民等の皆様から様々な意見をいただき、必要に応じて将来予想の修正を行い、その実現に向けた取組の優先順位や役割分担について整理等を行います。

その後、住民や地域活動団体、事業所等の関係者の協力を得られたものから具体的な市の施策や事業スキームを検討し、事業実施に向けて関係者との協働により進めていくことを目指します。



◆これまでの取り組み

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| R4 (2022) 年 7月：説明会開催 (グランドデザイン概要) | R5 (2023) 年 5月：説明会開催 (②Cエリア1回目) |
| R4 (2022) 年 8月：説明会開催 (②Aエリア1回目) | R5 (2023) 年 6月：周知活動 (淀川わいわいガヤガヤ祭) |
| R4 (2022) 年 9月：説明会開催 (②Aエリア2回目) | R5 (2023) 年 6月：説明会開催 (③エリア1回目) |
| R4 (2022) 年10月：説明会開催 (②Aエリア3回目) | R5 (2023) 年 8月：説明会開催 (②Cエリア2回目) |
| R4 (2022) 年10月：周知活動 (せんだん鳥の市) | R5 (2023) 年 9月：ワークショップ開催 (②Aエリア) |
| R4 (2022) 年11月：説明会開催 (②Aエリア4回目) | R5 (2023) 年10月：周知活動 (銘木フェスタ) |
| R5 (2023) 年 1月：周知活動 (防災マルシェ) | |
| R5 (2023) 年 2月：周知活動 (摂津ふれあいマラソン) | |



R4 (2022) 年7月
説明会開催



鳥飼まちづくりグランドデザイン

鳥飼まちづくりクラ YouTube JP - じ Ver.~

YouTube動画公開



R5 (2023) 年6月
淀川わいわいガヤガヤ祭



R5 (2023) 年9月
ワークショップ開催



R5 (2023) 年10月
銘木フェスタ

【今後の鳥飼まちづくりグランドデザイン関係の予定】

- R5 (2023) 年10月26日：②居住性向上エリアB/④田園 (農業とのふれあい) エリア 説明会
- R5 (2023) 年11月頃：ワークショップ (②A) [予定]

